

報道関係各位

社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (JPSA)

## 平成 13 年度パソコンソフトウェア市場動向調査 (速報版)

### ハードウェアとともに厳しい市場を予測

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会(会長:川島正夫=ピー・シー・エー株式会社代表取締役会長)は、日本自転車振興会から平成14年度機械工業振興資金の補助を受け、平成13年度における日本のパソコン用パッケージソフトウェアの国内向け出荷金額の調査を実施した。その結果、昨年度に比べて3%減の約7,100億円となり、1985年の調査開始以来、初めて減少することとなった(注1)。

要因の一つには平成13年度のパソコンパッケージソフトウェア市場は、ハードウェア市場の伸び悩み(注2)とあわせて低迷し、特に最大ボリュームの「統合オフィス系」の落ち込みがみられたため。

平成14年度の予測に関しては、ハードウェア市場は昨年のように前年比が100%を割りこむことはなく、ほぼ前年と同様の出荷額が予測されており(注3)下げ止まりの感がある。反面、ソフトウェア市場においては、実績値では7,453億円(5%増)と微増の調査結果となったが、IT市場はBtoB、BtoCともに不透明感がぬぐえず、いまだ厳しい状況がつづいており、デフレによる現実との乖離率を勘案すると、ほぼ前年度(平成13年度)並みと予想される。

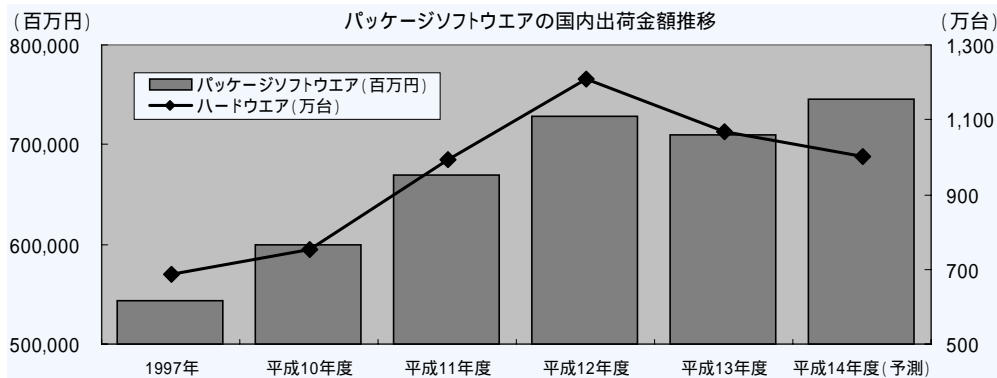
**なお、カテゴリ別ならびにチャンネル等の詳細な数値については現在調整中のため、12月下旬に発表予定。**

(注1):平成14年7月～9月にかけて郵送によるアンケート調査を実施、その結果を基に市場規模を算出した。市場規模はパッケージソフトウェア出荷ベース。調査対象は、当協会会員企業を中心にパソコン用パッケージソフトウェアを開発している大手企業約230社。なお、本発表内容はJPSA市場調査委員会(委員長:北沢昇=エー・アイ・ソフト株式会社代表取締役社長)が実施、株式会社日経リサーチの協力を得て調査を行ったものである。

(注2):平成13年度のパソコンハードウェア国内出荷市場は、対前年比88%の1,069万台(社団法人電子情報技術産業協会調べ)

(注3):平成14年度のパソコンハードウェア国内出荷市場の見込みは、ほぼ去年並みの1,000万台強(社団法人電子情報技術産業協会調べ)

		平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度見込み
パッケージソフトウェア	金額(億円)	7,285	7,101	7,453
	前年増加率	109%	97%	105%
ハードウェア	台数(万台)	1,210	1,069	1,000強
	前年増加率	122%	88%	-



### お問い合わせ

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (JPSA)

事務局 業務課 松川 (E-mail:matsukawa@jpsa.or.jp)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-3 須田町ヴェルデビル4階

TEL.03-3253-9166 FAX.03-3253-0159 <http://www.jpsa.or.jp>